

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【公開番号】特開2016-92028(P2016-92028A)

【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2014-220528(P2014-220528)

【国際特許分類】

H 01 F 41/06 (2016.01)

H 02 K 15/04 (2006.01)

H 01 F 41/04 (2006.01)

【F I】

H 01 F 41/06 A

H 02 K 15/04 C

H 02 K 15/04 F

H 01 F 41/04 F

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月16日(2017.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

コイル線材を送出および把持する線材供給手段と、送出された前記コイル線材の曲げ方向を案内する第1案内体と、前記第1案内体の位置を移動させる第1案内体駆動手段とを備え、前記線材供給手段を前記案内体に押し付けることによって前記コイル線材を曲折するとともに、前記線材供給手段の送出又は把持の動作に同期して前記第1案内体の位置を調節し少なくとも一部に円形を有するコイルを製作することを特徴とする巻線装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る巻線装置は、コイル線材を送出および把持する線材供給手段と、送出されたコイル線材の曲げ方向を案内する第1案内体と、第1案内体の位置を移動させる第1案内体駆動手段とを備え、線材供給手段を前記案内体に押し付けることによってコイル線材を曲折するとともに、線材供給手段の送出又は把持の動作に同期して第1案内体の位置を調節し少なくとも一部に円形を有するコイルを製作するものである。

また、本発明の巻線装置は、コイル線材を直線駆動する第1駆動モードと、コイル線材を円形状に曲げる第2駆動モードとを有し、第1駆動モードと第2駆動モードとを交互に繰り返して、長円形状の非真円型コイルを製作するものである。

また本発明の巻線装置は、第2駆動モードのみにより真円型コイルを製作するものである。